

## 箱根山 2015 年噴火の火口周辺地図（修正版）

静岡大学防災総合センター 小山真人

気象庁大涌谷カメラ画像、噴火前後の報道各社の空撮映像、ドローン映像（7月11日群馬大学早川由紀夫撮影など）から、大涌谷周辺の火口ならびに噴気孔の位置図を作成した（図1）。番号については気象庁のものを踏襲した上で新たに番号を加えた。なお、火口は6月29-30日に噴火した火口（15-1A）の他に、7月4日以降に活発な噴気と土砂噴出が確認できるもの（15-1B）の2つがあり、現在は連続した地形となっている。火口の周囲には明瞭な火砕丘地形と火口縁が形成されている（図2）。気象庁大涌谷カメラ画像と火口・噴気番号の対応を図3に示す。



図1 火口周辺地図（基図は GoogleMap を使用）

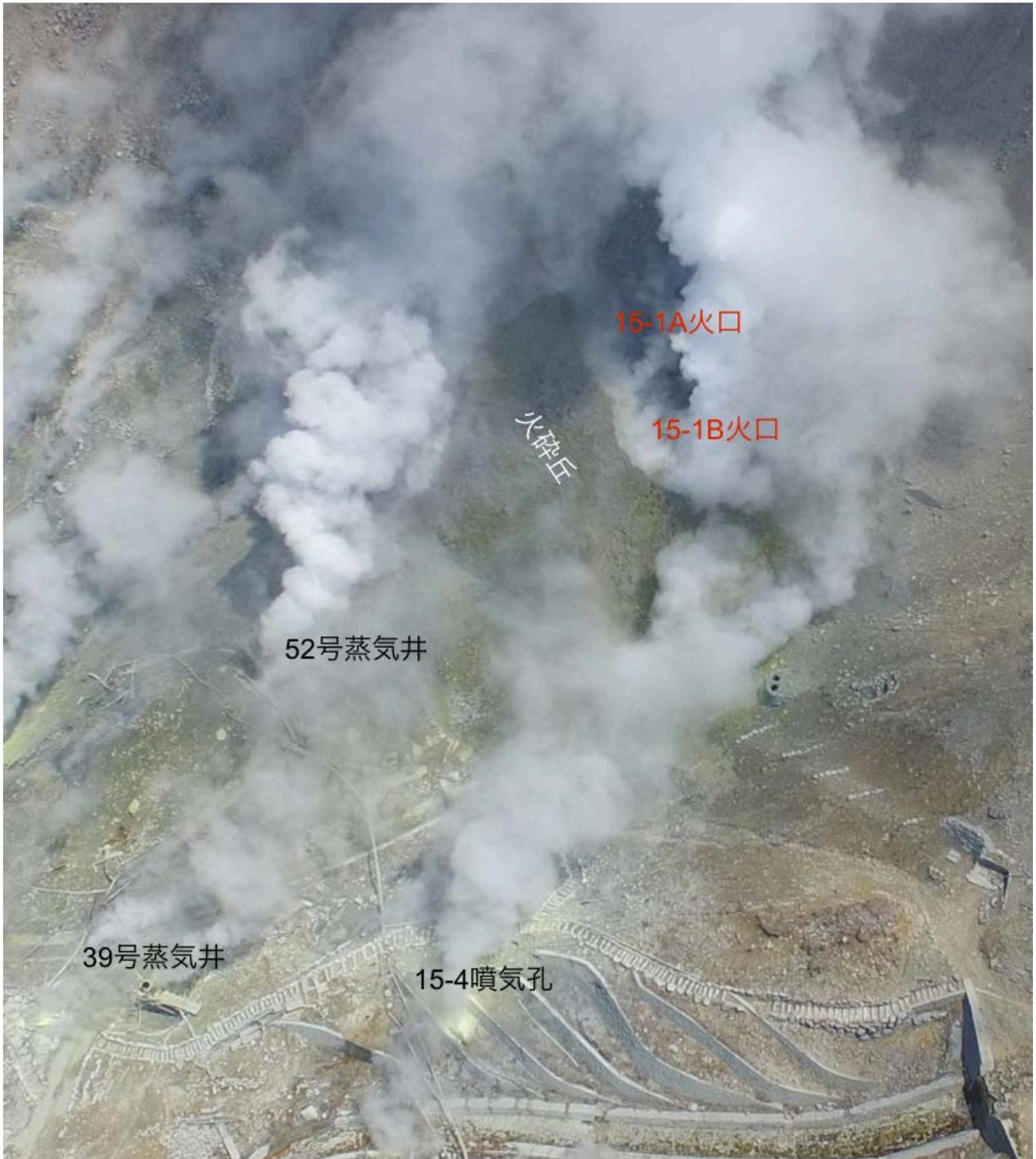


図2 15-1A ならびに 15-1B 火口とその周囲に形成された火砕丘  
(7月11日早川由紀夫撮影のドローン画像を使用)



図3 気象庁大涌谷カメラと火口・噴気番号の対応